

2022年2月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

**第3回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン(環境省主催)間接金融部門  
銀賞(環境大臣賞)を受賞**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、環境省が2020年に創設した ESG ファイナンス・アワード・ジャパン(以下「本アワード」)における間接金融部門にて、銀賞(環境大臣賞)を受賞しましたのでお知らせします。

ESG ファイナンス・アワード・ジャパンは、持続可能な社会への「公正な移行」を実現すべく、ESG 金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取組等を表彰し、広く社会で共有することによって ESG 金融の普及・拡大につなげることを目的とし、環境省が実施しているものです。本アワードは、環境への正の効果を生み出している企業を表彰する環境サステナブル企業部門と、ESG 金融に関する取組を積極的に行う企業及び金融機関を幅広く表彰する①投資家部門、②間接金融部門、③資金調達者部門、④金融サービス部門の4部門が設定されています。

当社は、上記②間接金融部門において、インパクトファイナンスの多面的な展開、ESG 地域金融への貢献、テクノロジー・ベースド・ファイナンス(以下「TBF」)チームの組成等、他金融機関に先駆けて新たな取組に挑戦する姿勢が顕著であったこと及び TBF チームの機能を活用した地域金融機関への支援の中で、業態や地理的制約に縛られずに案件を広げている点が高く評価され、銀賞(環境大臣賞)を受賞しました。今回の受賞は、2020年の本アワード第1回における金賞受賞に続き、2回目となります。



TBF チームは、科学・技術的知見に基づいて、課題の本質や解決策を見出すこと及び技術的価値やリスクを正確に評価することにより、技術の社会実装まで見通した能動的なアクション及びファイナンスを実現する当社オリジナルの専門家集団であり、既にポジティブ・インパクト・ファイナンスや ESG 地域金融等に取り組み、実績を上げています。

当社は、TBF チームの知見や機能を更に活用することにより、脱炭素社会の実現や ESG 金融への貢献、SDGs の目標達成に向けて尽力すると共に、お客さまの更なる企業価値向上に貢献することを引き続き目指して参ります。

以上